



\*\*\*\*\*

目 次

令和5年度特別講演会のご案内	-----	1
第35回中国四国伝熱セミナー・高松の報告	-----	2
中四国熱科学・工学研究会会則	-----	8
中四国熱科学・工学研究会 覚え書き	-----	9
会費納入先のお知らせ	-----	10

\*\*\*\*\*

### 令和5年度特別講演会のご案内

令和5年度特別講演会を下記の要領で開催する運びとなりました。今年度は2件のご講演をいただく予定です。万障お繰り合わせの上、参加下さいますようご案内申し上げます。

日 時： 令和5年12月16日（土） 14:20-16:00

会 場： 愛媛大学城北キャンパス 工学部本館3F 大会議室（<https://www.eng.ehime-u.ac.jp/#access>）

14:20-14:30 開会のあいさつ

14:30-15:15 特別講演-1

講演者：板垣 吉晃 先生（愛媛大学）

題 目：固体酸化物形燃料電池の電極設計

15:15-16:00 特別講演-2

講演者：内藤 俊雄 先生（愛媛大学）

題 目：光のエネルギーを物質中に蓄えられるか？

16:30- 懇親会

閉会

【注意】開始時間等については今後変更となる場合があります。

申込み：特別講演会参加希望と明記し，お名前，ご所属，ご連絡先および「懇親会への参加の有無」を書いて電子メールにて下記までお申し込みください。

岡山大学学術研究院自然科学学域 中曾 浩一 (knakaso@okayama-u.ac.jp)

申し込み期限：令和5年12月4日（月）

## 第35回中国四国伝熱セミナー・高松の報告

令和5年10月27日（金）

香川大学 奥村 幸彦

本年度の伝熱セミナーは「低炭素社会へ向けた取り組み」という副題で，熱物質移動やエネルギー変換を伴う場面においてご活躍されておられる3名の講師をお招きし，高松市のレクザムホールにて開催されました。特別講演では，教員および学生から多くの質問がなされ活発な議論が行われました。外部講師による特別講演に加えて，今回は一般講演を初日に開催いたしました。基礎伝熱から燃焼，混相流（粉体），プラズマまで，さらには化学，環境問題に至る熱科学全般に関わる範囲において多くの研究室の学生から発表がありました。留学生による英語講演も多くみられました。加えて，今回の伝熱セミナーでは，『特別講演および一般講演予稿集』（80ページ）を発行しています。

中国四国の学生同士の交流を開催方針に置いて，4年ぶりに宿泊を伴う対面開催を実現できました。また，瀬戸内海に面する高松市で開催したこともあり，セミナー終了後に島々の観光を楽しまれた方もいらっしゃったようです。関係の皆様にはご理解ならびにご協力いただき誠にありがとうございました。深く御礼申し上げます。

伝熱セミナーの概要は次のとおりです。

**日時**：令和5年8月31日（木）～9月1日（金）

**会場**：レクザムホール（香川県県民ホール） 大会議室，会議室1，会議室2  
（〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10）

**主催**：公益社団法人日本伝熱学会中国四国支部，中四国熱科学・工学研究会

**参加者**：参加者72名（一般・講師20名，学生52名）

**宿泊ホテル**：高松東急 REI ホテル（学生）

宿泊（ホテル）については，参加学生が個別に宿泊予約をせず，実行委員会にて纏めて予約しました。